

## 心を豊かにする「<sup>たがや</sup>耕し」子育て

### ～子供の育つ力を信じて～

子供一人一人には個性があり、見た目や性格、得意なことも、みんな違っています。子育ては、子供自身に備わっている伸びる力を信じて「子供の自分の木」を育てるために、お世話をして、手助けをして大事に育てることが必要です。親は「植え付け」に一生懸命になりがちですが、子供の将来に影響を与えるのは「耕し」のほうです。「植え付ける」とは知識やルールなど、親の頭の中にあるものを子供に教え込むことで、「耕す」とは子供の発言や行動などを親が受け止め、温かく見守ることです。この「耕し」が、子供の心を豊かにし、将来の「生きやすさ」につながります。そして、その「耕す」作業は特別に心を開いている相手にしかできないことなのです。



#### ● 子供に対して持つ感情

- 「植え付け」：(子供の将来への) 期待
- 「耕し」：(今の子供への) 興味・関心

#### ● 子供に対する思い

- 「植え付け」：「この子にもっと分かせたい」
- 「耕し」：「この子のことをもっと分かりたい」

#### ● 子供への声掛け

- 「植え付け」：「〇〇はえらいなあ」
- 「耕し」：「〇〇は面白いなあ」



では、「植え付け」子育てと「耕し」子育てについて、具体的な事例を挙げてみます。

#### ● 子供に関する口癖

- 「植え付け」：「こんな大人になってほしいの」
- 「耕し」：「どんな大人になるのかなあ」



- 「植え付け」：「こうしたほうがあなたのためよ」
- 「耕し」：「あなたはどうしたいの？」
- 「植え付け」：「そんなこと気にするな！」
- 「耕し」：「その時どう思ったの？」

しかし、「許してはいけない行動」、例えば危険なことをする、人を傷つける、物を壊すことなどはやめさせないと、結局は子供のためにもなりません。「〇〇はやめなさい」と真剣な態度で伝えましょう。

「耕し」子育てで大切なのは、子供がどう成長するかを子供自身に任せ、肯定的なリアクションをしながら、一緒に遊ぶなどして楽しく過ごすことです。そうすることで、子供のメンタルは驚くほど安定していき、親子関係が良くなるとともに、子供の心は耕されていきます。そして、自己肯定感の高い、生きやすい体質へと成長していきます。

参考資料：「私、子育て向いていないかも」がラクになる本